

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月29日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【敷地境界連続ダストモニタMP-2(A)系の故障警報の発報について】 当直員が、免震重要棟遠隔監視盤の敷地境界連続ダストモニタMP-2(A)系に故障警報の発報を確認。現場を確認したところ、(A)系の測定データが欠測状態であることを確認。同日、予備機に交換を実施し、運転を再開。 なお、連続ダストモニタ(B)系で、測定は継続できているため問題はない。 今後、原因調査を行い、点検・交換・調整等を実施予定。	GⅢ	10月25日
2	【No. 3純水タンク 旧純水補給配管のサポート腐食について】 当直員が現場確認において、No. 3純水タンク東側に敷設されている旧純水補給配管のサポートが腐食し配管に固定不良箇所があることを確認。 なお、配管サポートは多点で行われており、当該純水補給配管は現在使用されていないため、問題はない。 今後、腐食箇所を点検・修理予定。	GⅢ	10月25日
3	【床補修時における、作業員の指の負傷について】 協力企業作業員が、床補修のため合板を丸鋸で切断していたところ、丸鋸の刃が跳ね返り合板を押さえていた被害者の左手に接触し、指を負傷した。 その後、緊急医療室で医師の診断の結果、緊急搬送が必要と判断されたため、救急車を要請し搬送。医療機関にて処置を行い、現在は事務作業にて職場復帰している。 今後、災害事例として負傷内容を周知すると共に、再発防止対策を検討する。	GⅢ	10月26日